

「整形外科病棟に入院した患者の骨折リスク評価と持参薬状況に関する検討」の研究について

## 1. 研究の対象

2020年4月から約6ヵ月間に整形外科病棟に入院した40歳以上の女性患者さん214例

## 2. 研究目的・方法

骨粗鬆症は10人に一人の割合で発症し、高齢社会において骨折による寝たきりのリスクは重要な問題です。それにも関わらず骨粗鬆症は治療率が低いことが知られています。

整形外科の患者さんが主として入院する病棟で新規に入院する患者さんの骨折リスクをWHOが開発した骨折リスク評価法を用いて評価します。また電子カルテ等より持参薬状況調査を行うことで、入院患者さんの骨粗鬆症治療の必要性について検討を行いました。

実施予定期間は、病院長による許可日から2022年3月31日までとします。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

骨折リスク評価法で算出された値（以下12項目より算出：年齢・性別・体重・身長・骨折歴・両親の大腿骨近位部骨折歴・現在の喫煙・糖質コルチコイドの使用有無・関節リウマチの既往歴・続発性骨粗鬆症・アルコール摂取の有無（1日3単位以上）、骨密度）。入院時の持参薬内容（外用・頓用を除く）、退院時の処方内容（外用・頓用を除く）、骨粗鬆症治療薬の処方の有無、骨粗鬆症治療薬の種類、カルテ番号、各種検査値等。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：磐田市立総合病院 薬剤部 大塚 裕子

〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512-3

電話番号 0538-38-5000（代表）